

令和元年度 保幼小連携地区ブロック活動報告書

1 地区ブロック名 若宮・細井 地区ブロック
 今年度のテーマ ポイントとなる姿（ 言葉による伝え合い ）

2 地区ブロックの組織
 ・若宮小学校 ・細井小学校 ・まえばし幼稚園 ・細井保育所
 ・第二はと保育園 ・上細井保育園 ・きりのこ保育園

3 連携推進活動

日 時	場 所	内 容
5月16日（木）	総合福祉会館	第1回地区ブロック会議
6月14日（金）	細井小学校	学校公開日
6月19日（水）	若宮小学校	学校公開日
○6月25日（火）	若宮小学校	地区ブロック研修会
7月3日（水）	きりのこ保育園	夏祭り
7月10日（水）	まえばし幼稚園	幼稚園公開日
7月23日（火）	細井保育所	夏祭り
7月27日（土）	上細井保育園	夏祭り
8月31日（土）	第2はと保育園	夏祭り
9月21日（土）	細井小学校	運動会
9月21日（土）	若宮小学校	運動会
9月28日（土）	上細井保育園	運動会
9月29日（日）	まえばし幼稚園	運動会
10月2日（水）	細井保育所	運動会
10月5日（土）	きりのこ保育園	運動会
10月15日（火）	若宮小学校	学校公開日
10月19日（土）	第2はと保育園	運動会
11月6日（水）	若宮小学校	就学時健康診断
11月7日（木）	細井小学校	就学時健康診断
11月30日（土）	第2はと保育園	冬祭り
11月21日（木）	若宮小学校	保幼小交流会
1月	細井小学校	凧あげ（細井保育所と交流）
2月18日（火）	若宮小学校	学校見学（きりのこ保育園、まえばし幼稚園）
3月	細井小学校	学校見学（細井保育所）
3月28日（土）	第2はと保育園	卒園式

4 令和2年度の代表校園所 【 第二はと保育園 】

5 これからの保育・教育に生かしたいこと

- 今回、研修が6月ということもあり、各園所を卒園して間もない子どもたちの授業の様子が見られ、良かったです。算数の授業を通しての「言葉による伝え合い」の協議では、算数の授業であるが、言葉の大切さがより重要であることをあらためて認識いたしました。幼児期にできることとしては、たくさんのかことを体験させ、それを言葉にしていくことが大切であると教えていただき改めて私たち保育士が感受性豊かに様々な言葉を伝えられるようにし、小学校での学習をスムーズに取り組めるよう育てていきたいと思いました。
- 保育園を卒園した子どもたちが、小学校へ行きどのように授業を受けているか見ることができ良かったです。また、6月という早い時期に参観できたことも良かったですと思いました。協議では、保育園での保育をどう小学校へつなげていくかという話の中で、言語環境の充実を図ることの大切さや体験の厚さが集団での学びの意欲へつなげると知り、具体的な実体験をたくさん経験することの大切さを改めて感じました。今後、遊びを通し「何個ずつ」や「右から何番目」など、数を比べたり「差はいくつ？」など体験していけるようにしたいと思いました。保育の中で経験させたい具体的な事例も知ることができました。これをこれからの保育に生かし、保幼小の連携を行い、子どもたちがスムーズに小学校生活が始められるようにしていきたいと思いました。
- 個性豊かな子どもたち一人一人と向き合いながら、言葉のやり取りを通じて算数への興味を引き出す授業風景の中に、子どもたちの現状と担任の先生のご苦勞を知ることができました。近年、全国の小学校で授業が成立しない「小1プロブレム」と呼ばれる現象が問題になっています。その要因の一つとされるコミュニケーション能力不足をなくしていくために、「自分の気持ちを相手に分かるように言葉で伝えたり、相手の意見を聞いたりできる力」「人の話が終わるまで静かに聞ける力」「諦めないで挑戦する力」を幼児期に身に付け「学びに向かう力」へとつなげていけるような保育を行っていきたいと思います。子どもたちの小学校生活への円滑な移行のため、これまで以上の保幼小連携の強化が求められていると感じました。
- 今回の研修では、入学してから2ヶ月を経過した子どもたちの姿を参観することができました。算数の授業の中で、教師が子どもたちの身近な体験や考えたことなどを話題にししながら、子どもたち自身の言葉で引き算の問題を作成するために必要な言葉を探せるような工夫をしていたことや、子どもが発した言葉を生かしながら授業を展開していたことが印象的でした。また、子どもたち

が小学校での生活に慣れてきた頃に、集団で学ぶ姿を参観したことにより、自分自身が小学校生活を身近に感じることができ、円滑な接続のために大切なことについて深く考えるきっかけになりました。参観後の情報交換では、乳幼児期に培われた数の概念が小学生になってから生活や学習の中で生かされていることが話題になり、就学前の子どもたちが遊びや生活の中で数量に触れたり、親しんだりする姿について具体的な例を出し合いながら情報交換を行いました。今回の研修を通して、小学1年生が安心感をもって自分の力で学校生活を送るためには、乳幼児期からの言語の積み上げが重要であることについて共通理解を図ることができました。今後は、教師が言語の積み上げを意識しながら、遊びや生活の中で子どもの発した言葉を丁寧に受け止めたり、子どもが伝えようとしていることについて言葉を補足しながら代弁したりして、子どもたちの語彙を豊かにしていきたいと考えます。

- ・ 1年生の算数の授業を参観した。引き算の文章題の問題作りの授業であったが、「ひく」という概念は、幼稚園・保育園などの生活経験が深く関わっているのだと感じた。幼稚園や保育園でどのような生活経験をしているのか、情報を得ていく必要があると感じました。今までは、中学、高校、大学の学習に合わせて授業を変化させていたが、これからは、幼稚園や保育園の教育にも、目を向けていきたいと思います。

